

令和6年度 司法試験予備試験短答式試験

【一般教養科目】 解答速報

作成日時 2024年7月14日19時23分 (第1報)

7月15日0時57分 (第2報)

7月16日12時54分 (第3報)

作成 The Law School Times編集部

問	No	解答	配点	判断の根拠
1	1	5→3	3	【訂正】 難問。第二次世界大戦のきっかけはミュンヘン協定？だがエは決定打にならない⇒第二次世界大戦が開始されて東ガリツィアをまず占領したのはソ連、次がドイツによるポーランド侵攻（1941年）（第2報）
2	2	2	3	
3	3	4	3	
4	4	1	3	
5	5	1	3	
6	6	3	3	
7	7	3→4	3	【訂正】 空欄直後が受動的なので4（第2報）
8	8	3	3	
9	9	4	3	
10	10	5	3	
11	11	4	3	
12	12	1	3	【追記】 4ア「全ての先進国のCO2の排出量が2000年より20%多いなら、水資源が枯渇する地域も出てくる。」の対偶は、「水資源が枯渇する地域がどこにもないなら、全ての先進国のCO2の排出量が2000年より20%より多いわけではない（もしかしたら20%より多い国もある）」よって、4は同値ではないと考える。（第2報）
13	13	4	3	
14	14	1	3	
15	15	5	3	
16	16	2	3	
17	17	2	3	
18	18	4	3	
19	19	2	3	
20	20	1	3	【追記】 外部性とは、直接関係のない第三者に利益やコストの影響を与えることである。 1→サポート費は当事者間の話で、第三者は登場しないから外部性がない 5→ドライバーの選択が渋滞状況にも影響する(車1台分、渋滞が増減する)ため、ほかのドライバー(第三者)にも影響しており、外部性がある となり、1が誤りと考える。（第2報）

問	No	解答	配点	判断の根拠
21	21	4	3	
22	22	5→2	3	【訂正】薄膜とレンズの境界反射において位相反転が起こるため、条件を満たす最短光学距離差は1/2波長分となる。よって求める厚さをmとすると、薄膜中の屈折率1.5を考慮し「 $1.5m \times 2 = 1/2$ 波長」となるため、選択肢2が正答（第3報）
23	23	4→5	3	【訂正】全質量、球半径が等しいと仮定すると、剛体の慣性モーメントの大きさは立方体<球体<球殻となる。慣性モーメントが小さいほど速く転がるため、選択肢5が正答（第3報）
24	24	3	3	
25	25	4	3	
26	26	4	3	
27	27	3	3	
28	28	4→3	3	【訂正】風が吹いて海面が摩擦力を受けて風の向きに動くが、コリオリの力を受けるため北半球では右側にそれる。深さと共に流れの方向はさらに右に逸れていき、100mくらいで流れがほとんどなくなる。流れ全体を積算すると、風と垂直方向に右に輸送される。このエクマン輸送により、偏西風、貿易風の吹く向きの90度右に海水が運ばれる。すなわち、亜熱帯高圧帯の低緯度側と高緯度側から海水が集まってくるということなので、相対的に海面高度が高くなっている。よって選択肢3が正答（第3報）
29	29	2	3	
30	30	2	3	
31	31	2	3	
32	32	3	3	
33	33	5	3	
34	34	4	3	
35	35	2	3	
36	36	2	3	
37	37	4	3	
38	38	3	3	
39	39	1	3	
40	40	5	3	
41	41	5	3	
42	42	3	3	